

会議名	第46期 一八会 第7回 会員増強委員会議事録				2025年5月28日
					書記 堀
議題	会員増強委員会主旨、令和7年度の取組、9月オープン例会				
日時	2025年5月20日(火) 19:00~20:30		場所	姫路商工会議所 604号室	
参加者	役職	氏名	役職	氏名	
参加者	会長 副会長 会計 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	菅原 州平 北浦 宏祐 堀 良介 表 宏明 本田 龍祐 岡本 康寛 清水 風馬 中村 和丸	委員長	田村 彰朗 衣笠 慶紀 富田 俊治 中谷 徹 永田 勝也 松ヶ下 恭平 三宅 信輔 山尾 悠造	

No	表題	内容
1	会長挨拶 菅原会長	<ul style="list-style-type: none"> 本日は非定例の委員会にもかかわらず 16名が参加、感謝致します。 今回の委員会は 46期の取り組みを共有しながら、皆さんの意見を出して頂いたり、力になってもらいたいと考えている。ざくばらんな雰囲気で進めたい。 議事録は全会員共有
2	委員長挨拶 田村委員長	<ul style="list-style-type: none"> 増強委員会は今回第7回目だが、年々、参加者が減っていく傾向にある。 過去増強委員会では毎度似通った内容を話してきたが(結果的に)、今年度に関しては、菅原会長が、この増強委員会に対して本当に真剣に取り組んでいるので、この後共有するが、是非力になって頂きたい。
3	増強委員会の主旨	<p>振り返り(増強委員会主旨、会員数推移、会則、入会関係書類の再共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「入会希望者受入れの手引き」「ゲスト参加申込書」「勧誘予定者審査票」等の入会候補者に関わる資料を会員 HP ブログ欄に再度 UP している。ダウンロード、印刷可。 <p>会員数と財政状況について(今年度予算案を参考に損益分岐表を共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度会員数 33名(過去 15 年間大体 30 人台前半)で、物価高や予算内の実質的な固定費(周年事業積立金、会議所分担金等)を踏まえると現会員数では財政的に厳しく安定的な会運営を行うには最低でも 35~36 名は必要。望ましくは 40 名。 今年度の目標は +3 名(会員数 36 名を目指す)
4	令和7年度の取組について	<ul style="list-style-type: none"> 9月に予定していた講師例会を、増強委員会と絡めて会員増員を促す目的でのオープン例会とし、メインアプローチの機会とする。 昨年度入会者、今年度入会する方に向けてのフォローやケア。 増強委員会をその場の会議で終らせないように、9月例会に向け行動し役員以外の会員も当事者意識を持てるような内容を工夫。(例年、ゲストを呼ぶ会員が結果としてその年の役員に偏っている背景から) 今までの増強委員会の主旨 + α で取り組みをイメージしてもらいたい。

No	表題	内容
		<p>9月オープン例会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清宮克幸氏を講師とする。 <p>清宮克幸氏…日本ハム清宮幸太郎選手の父、ラグビー界では優勝請負人と呼ばれるほど有名であり、現在はラグビーフットボール協会の副会長を務めている。早稲田大学やサントリーでチームを強化し、母校の早稲田大学も弱体期から優勝に導いた実績があり、組織をまとめる力に長けている。ラグビー/スポーツと会社経営には共通点が多く、講演は経営の役に立つと考え、弱小チームを目標達成に導いてきたノウハウなどを話してもらうことを期待している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月18日に三役で清宮克幸氏を訪ね講演内容詳細を打ち合わせ予定(目的・構成・訴求点の確定)。この打ち合わせで9月例会の内容の大部分を決定したいと考えているので、どういう形式、流れ、注意点等を意見頂き、より全体の意見に近い形で先方との打ち合わせに臨みたい。 <p>以下質問、指摘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出る話だが、新入会員の入会年齢制限を設けるべきか？ ・今回のオープン例会もゲストの年齢を絞って勧誘することも考えるべきでは？ ・実際夕方に時間を作ってゲストとして来てくれる人のことを考えると、興味ある人でないと来ないと思う。20歳台の人を勧誘したとして、清宮さんが来ますといったところで興味があるのか？自然と結果は年齢層が高くなる気がしている。 ・会全体で何人呼ぶというのを明確に示さないといけない。 ・他団体がある中で一八会を選んで入会してもらうことを考えると「一八会とは？」という強みや、特色を明確に打ち出していくことも考えるべき。 ・一八会員の多数は、他団体を見ようとしていない。どういう取り組みをしているかとか勧誘の仕方とか、学ぶものはたくさんある。せめて役員は外部に顔を出していくことしないといけない。おのずと一八会という名前を売っていくのは。 ・他団体を経験して結局既存会員のマンパワーである面が大きい。 ・昨年の9月もオープン例会(ゲスト約10名参加)だったが入会に至らない方が大半だったことから、会員増強の意識を9月に集中させ過ぎるのは危険に感じる。 ・そもそも46期で9月例会の内容がほとんど決まってない状況だと現段階では増強委員会参加者からすると意見のしようがない。あくまで1例会として46期内大枠を決めて来てから議題に挙げて欲しい。 ・一八会普段を見せていく取り組みも必要ではないか。一八会の特徴として、自分たちで例会を造っていくことが大きく、講師例会はどっちかというと「らしくない」と感じるので、入会してからのことを考えると、入会するまでの情報とギャップを感じ、入会しても辞めてしまう流れに繋がると考える。 ・今期の分科会の内容が労務、財務であることから分科会もゲスト推奨としてはどうか？ ・結局外部には一八会の魅力を伝える必要があるし、入会年度の浅い会員からすると先輩会員の一八会に対する思いなども共有してもらう機会が欲しい。次回委員会の宿題として、①入会のきっかけ②入会前のイメージ③入会後のイメージ④実際入会して良かった点等を挙げてもらってまとめたい。(メール？HP？検討)
5	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の増強委員会では今期としては未完成な部分が多いので2回目(第8回)を予定する。7月あたり(検討中) ・増強委員会としての進め方に意見やご指摘を頂いたので前段の質問や指摘を参考に役員で方向性や、行動指針を明確にし、増強委員会で会員に共有する。

No	表題	内容
		<p>主な検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月オープン例会の具体的な内容 (講演内容、ターゲット、運営形式、集客)。 ・一八会の「強み」「魅力」を言語化し、対外的にどう発信していくか。 ・年齢制限の是非と導入した場合の影響。 ・新入会員のフォローワー一体制。 ・会員増強委員会の役割を再定義し、活動内容を具体化する。